

市民のみなさんに
市長が伝えるコラム

希望の風



下関市長の部屋

皆さんよろしく
お願いします！

こんにちは。このたび下関市の新しい市長に就任しました前田晋太郎です。

去る3月27日に初登庁以来、市長としての公務や任務をこなすため、目まぐるしい日々を過ごしています。これから下関に新しい風を吹き込むべく、全身全霊で市政発展のために努めていきます。

私が産まれたのは新地西町で、両親は薬屋を営んでいます。家

族は妻と子ども3人。子どもたちは毎日元気に小学校へ通っています。

身内親族には政治家はいません。そんな環境下で私が政治家に志を立てたきっかけは、卒業した長崎大学から実家に帰ってくるために降り立った下関駅がどことなく寂しく感じたその時。まさに故郷への「憂い」が私の心に芽生えたその瞬間でした。

これからは、今まで培ってきた14年間の政治経験をフルに生かし、新しい事に勇気を持って果敢にチャレンジしていきたいと思っています。そして諸先輩方が守ってこられた愛する故郷の深い歴史や文化もしっかりと次の世代につないでいきます。

27万人の市民の生活と未来を背負う市長の職責は重く、大変重い職務ですが、

全ての市民の不安や思い、そして夢を「希望」に変えることができ

る市政を目指す。指し、これらの未来を切り開いていきます。

皆さん、これからどうかよろしくお願ひします。



まち協通信 菊川地区 まちづくり協議会

このコーナーは、各地で「住民自治によるまちづくり」に取り組む「まちづくり協議会」が作成しています。特色のある活動や取り組みなどについて紹介します。

17地区のトップを切って まちづくり協議会を設立

平成27年9月27日、市内17地区のトップを切って菊川地区まちづくり協議会を設立しました。

誰も経験したことのない人口減少、少子高齢化が確実に進んでおり、2025年には団塊の世代を含む国民の2割近くが75歳以上になります。近い将来起きるさまざまな問題に対し、住民総参加で対処しなければなりません。その中核になるのが「まちづくり協議会」です。

菊川地区まちづくり協議会では、昨年2月に全戸を対象としてアンケートを行いました。堰を切ったように数万件もの多くの声が寄せられた一方で、4割以上の方が「菊川地区まちづくり協議会の取組



菊川地区まちづくり協議会
内山峯生 会長

みを知らない」と答えました。9月に行った高校生以下を対象としたアンケートでは、「大人になっても菊川に住みたい」と答える割合が、年齢を重ねるごとに低下していることなどが特徴的でした。

キッズフェスタで協議会PR と多世代交流に手応え

アンケートの結果を踏まえ、今年2月には「故郷の子どもに楽しい思い出を」と題して、キッズフェスタを開催しました。当日は幼児やその保護者、お年寄りまで約600人の参加があり、まちづくり協議会の取組を知っていただきました。多世代交流をはじめ、大きな



2月19日(日)に行われた
「キッズフェスタ」(アブニール)

成果を見ることができ、手ごたえを感じました。かつて農村では農繁期の作業、冠婚葬祭、子育てや結婚の世話を「村落共同体」で助け合いながら行ってきました。経済成長とともにこの共同体が崩壊し、行政からの補助金、助成金頼み、つまり公助になっていきます。しかし、国や地方の財政難から、この公助も難しくなっています。

共同体に戻ることは難しいでしょうが、まちづくり協議会の活動を通じて、困っている人を見て見ぬふりをするのではなく、温かい手を差し伸べること、「お互いさま」の心で住民が助け合い、老若男女が交流するなど小さなことの積み上げで、縮んでも明るいまちづくりができたかと考えています。

【協議会情報】

- 菊川地区まちづくり協議会
(菊川中学校エリア)
- ▽会長 内山峯生
- ▽事務所 菊川町大字田部747番地4
菊川総合支所第3庁舎内
☎250-8401

